

# しずおか福祉

〒425-8611 静岡県焼津市本中根549番1 TEL.054-623-7000 FAX.054-623-7453 http://www.suw.ac.jp

## インタビュー

# 大きくはばだけ！ 福祉のプロをめざす卵たち

聞く人 久保田佳奈

(静岡福祉大学福祉情報学科一年生)

答える人 加藤 一夫

(静岡福祉大学・静岡福祉大学短期大学部学長)

### 充実したキャンパスライフを主体的に過ごす

久保田 私たちにとって初めての4年間の学生生活がいよいよスタートするわけですが、今日はいろいろとお話しをうかがえることを楽しみにしています。まず、私たち学生がどのようなキャンパスライフを過ごすことを期待していらっしゃいますか。

加藤 本学は福祉社会の構築に貢献できる人材の育成を建学の精神としています。皆さんもこの精神に基づき、主体的で充実した活動をしてほしいと思っています。その前提としてまず、社会生活に必要な基本的な態度を身につけ、他人とコミュニケーション



加藤一夫学長  
とが大切です。就職する際には必ず、コミュニケーションの力が要求されますので、友人や先生方との関係、そして地域のボランティア活動などを通じて、身につけて欲しいと思います。

### 人のかかわりを大切に福祉の心を育む

久保田 次に勉強についてお聞きします。静岡福祉大学は県下で唯一の福祉系の大学ですが、2年あるいは4年間、どのような姿勢で学んで欲しいとお考えですか。  
加藤 皆さんはまさに21世紀の社会を作

っていく担い手なんですね。ところが今の日本の社会は円熟期を迎えているといってもよい。むしろこれからは衰退期に入ります。それだけに、将来の社会をどう生きているか、しっかりと考える必要があります。そのためには、先ほど申し上げたように基本的なことを身につけること、そして地域社会や国に目を向け、世界に目を向ける姿勢が欠かせません。

先日、福祉の分野で活躍するNPO法人の集会に出席しましたが、関係者たちが大変活気に満ちていることに感動を覚えしました。本当の意味で福祉の心を育むためには、単に机の上で学ぶだけでは不十分です。社会的な課題を抱えている人々と実際に接する中で、その課題をいかに解決していかば良いのか、さらに、今の自分には何ができるか、しっかりと見つけて欲しい。福祉を専門的に学ぶ大学を出たからには当然、障害者や障害問題に詳しいという目で世間からは見られます。ノーマライゼーションという言葉を単なる言葉に終わらせない社会、そんな社会の担い手として活躍して下さい。



久保田佳奈

久保田 ささまざまな課題や問題を一人だけで解決しようとするのは難しいかも知れません。今の自分にできることや、自分の役割を発見することが大切か

なあと感じますね。  
加藤 円熟期という言葉を使いましたが、現代はこれまでの社会や経済のシステムが

ゆきづまっている時代ともいえます。そんな社会を自分たちで変えていく気概と行動力が要求されます。まずは問題意識を持つこと。そして、グローバルに考え、ローカルに行動して欲しいですね。

### 企業が求める専門知識を身につけた人材

久保田 卒業後の進路や就職についてうかがいます。景気もようやく上向きつつあると言われます。4年後を予測するのは難しいとは思いますが、どのような見通しをお持ちですか。

加藤 福祉心理学科についていえば、ストレス時代を迎え、これからはますますメンタルヘルスの分野が注目されるでしょう。臨床心理士の資格を取得して、専門的な活動に従事することはもちろんですが、本学で学んだ知識は一般企業の職場でもきつと役立つはず。一方、福祉情報学科で学ぶ皆さんは、文字通り情報化時代の福祉の担い手としての活躍が期待されます。福祉の現場ではコンピュータを積極的に活用するだけではなく、情報分野に強くて福祉マインドを持つ人材へのニーズは今後ますます高まるでしょうね。

また介護福祉学科では介護のプロフェッショナルになるための専門知識と技術を学びますが、今は即戦力として活躍できる人材が求められています。2年後も福祉の専門資格を持つことが就職にあたって有利に働くことはまちがいありません。静岡県下には福祉分野の施設が多いし、企業も沢山あります。事実、短大時代から多くの卒業生を送り出してきて企業との関係も拡大しています。そうしたネットワークも本学の強みといえます。

久保田 専門知識を身につけるための勉強が大変だなとも思いますが、あとから振り返って充実した4年間だったと自信を持っていえるような学生生活を過ごしたいと思っています。今日はありがとうございました。

# 座談会

## 人と人との関係を大切に 福祉の世界を学びたい

フレッシュな新入生たちに、学校の印象、友人関係、授業、静岡福祉大学を選んだ理由など、本音の気持ちを聞いてみました。季節の花に彩られた部屋の、ちよつと贅沢なケーキと飲み物。ついつい話が脱線することも。



### 出席者

- 河野 一弥 (短期大学部介護福祉学科)
- 土橋 美緒 (短期大学部介護福祉学科)
- 中津川千夏 (福祉心理学科)
- 武藤 泉 (福祉心理学科)
- 山本 怜奈 (福祉情報学科)
- 吉田 圭 (福祉情報学科)
- 司会 檮木てる子 (福祉心理学科講師)

### 【学校の印象】

司会／今日は福祉心理学科、福祉情報学科から2名ずつ、そして短期大学部介護福祉学科から2名の方が集まっていたいただきました。学校の印象や学生生活について、自由に語っていただきたいと思っています。まず、大学に入った第一印象についていかがでしょうか？

吉田／花がきれいだなあとというのが第一印象です。  
武藤／のどかな場所に建物があつて、人が多いので驚きました。授業が終わると急いで食堂の席取りに飛んでいくんですよ(笑)。  
山本／人がいっぱいで圧倒されました。河野／みんなテンションが高いですね。活気と楽しさが伝わってきます。土橋／私は山梨から来たので最初のうちは、ちよつと不安でした。



吉田／印象  
といえは、  
圭 私は女子校  
だったの、  
男の子を見  
るのは久しぶり

土橋／私は男の子が少なくて驚きました(笑)。  
河野／介護福祉学科の男性は1クラス6人しかいないんですよ。  
山本／福祉情報学科のほうは、けっこう男性がいますね。  
河野／介護福祉学科にももう少し男性がいるといいと思いますね。大体、女の子のほうがパワフルですけど(笑)。  
武藤／4年制のほうはそうでもないよね。



河野／私は  
先生に親近  
感を持ちま  
したね。学  
生と仲良く  
話している  
姿を見て、

思ったより親しみやすいなあと思いました。  
山本／フレンドリーですよ。授業でも、気楽に質問をしやすいですね。

### 【友人関係と授業】

司会／友だちではできましたか？  
土橋／いっぱいできて楽しいんですけど、クラスの授業などでグループに分かれたときなどは、お互いを知ろうとしませんね。  
山本／その気持ちは分かりますね。グループが固定化されている。  
武藤／私たちはそういう感じじゃないですね。いろんな友情を感じたいから、ぶつかることは恐れない。  
河野／ぶつかっても、時間が解決することってありますよね。

司会／すでに授業が始まっていますね。高校とは随分違うと思いますが、実際に出席してどうでしたか？

吉田／私はパソコンの授業がついていくのが大変でしたけれど頑張ります。

土橋／介護の授業は結構ハードですね。河野／でも、まず技術的なことを身につけたいので、ぼくは頑張りたいと思います。

吉田／わっ、大人（笑）。中津川／私は授業にまだ慣れていなくて……。

武藤／試験で点数が取れるかなあとかとまどいはあります。

山本／大学の授業の中には、たった一度の試験で決まるものがあると思うと不安ですね。

## 「この学校を選んだ理由」

司会／本学は県下では唯一の福祉大学ですね。皆さんがこの学校を選んだ理由を教えてくださいませんか。

武藤／福祉には中学生ぐらいから興味がありました。人の支えになる体験を通して、「ありがとう」と言ってくれる言葉がうれしくて、あ、これが福祉という分野なのかって感じていたんです。でも、福祉は人の心を知らないといけない、それを学んだ上で福祉の資格を取りたいと感じました。そこで、静岡福祉大学には福祉心理、福祉情報の



武藤 泉  
で、静岡福祉大学には福祉心理、福祉情報の

福祉情報の

二つの学科がありますが、私は福祉心理を選びました。今は、世話をしたりされたりという関係ではなくて、私たちが支える相手もそれなりに努力していて、むしろその姿がすごいなって考えるようになりました。

河野／社会人の時に友人を亡くして、自分の人生や生き方を初めて真剣に考えたことがあります。そのときに、自分の残りの人生を人の役に立ちたいと思ったのが福祉の道に入ったきっかけです。



土橋 実  
祖父が倒れたときにデイサービスを受けることになりました。ある

日、入浴サービスを受けたとき、介護の人が時間内に終わらせようとしたんですね。事務的に裸にさせられた祖父を見たときに、福祉はこういうものじゃない、これではいけないと疑問に思っただけです。介護者と介護される者だけでなく、家族もいます。その第三者の視線がないと良い介護はできないんじゃないかと思っています。

山本／福祉に触れたのは、小学校高学年のときでした。道徳の授業で、老人ホームに行くことになったんです。とりあえず掃除を手伝ったのですが、自分と無関係の世界ではなかった。「こんにちは」と挨拶すると、笑顔で答が返ってきて、うれしかったんですね。そのときに、福祉の仕事があることを知りました。もともと、人と接するこ

とが好きなので、人が喜ぶ顔を見ることのできる仕事につきたいとも思っていました。そして、去年の秋に祖母が下半身不随になった姿をみて、自分は何ができるか考えたんです。ちょうどその頃、この学校のパンフレットを見て、まさに私が求めていた大学だったんです。「この学校が呼んでいる」とも思いました（笑）。



中津川 千夏  
学校で吹奏楽クラブに入っていたが、慰問に行ったことがあり

ます。患者さんがとても楽しい笑顔になってくれました。同じ支えるのでも、心の部分で楽しんでもらいたい、元気になってもらいたいというのを感じました。そこで、心のケアを勉強したいと思って、福祉心理を選びました。吉田／私は中学のときに選択授業で福祉があったんです。他の友だちは興味なかったようですが、私は心理ゲームや車いすの乗り方を体験して、単に楽しいからというのではなく、福祉をしっかりと学びたいと思いました。この大学の体験学習に来て、そのときにお会いした先生にも相談したのですが、いろいろと親身になっていただきました。

## 「学生生活をどう過ごしましたか？」

司会／それでは最後に、皆さんは、どんな学生生活を過ごしたいか聞かせて下さい。



山本 怜奈  
好奇心旺盛なので、いろんなこと、サークルだけじゃなく、バイト

をして、お小遣いを貯めて、海外旅行もしたいと思います。勉強と遊び、バイト、サークルなど、メリハリをつけて、自己管理をしていきたいです。

吉田／部活ではソフト部に所属していましたが、映画が好きなので、映画サークルに入りたいですね。

土橋／いっぱい友だちを作って、いろんな人から吸収したいと思います。

河野／ぼくは金銭的なことも自分で管理しなければならぬので、出費については我慢できるところは我慢します（笑）。趣味はスキー、釣りです。

中津川／私は吹奏楽のサークルを作りたいですね。人を集めて、老人ホームや幼稚園で演奏したい。自身はフルートを吹きます。

武藤／私はサッカーを3年間やっています。

全員／かっこいい（笑）。

武藤／3年間で手話通訳士の資格も取りたいので、勉強と並行して、サークル活動を続けたいですね。残りの1年間は就職活動中心かな（笑）。

司会／皆さんの熱気がこちらにも伝わってきました。今日はありがとうございました。

# 静岡福祉大学・静岡福祉大学短期大学部行事予定2004



**4月**  
**■入学式**  
 大学生生活のスタート、厳粛な面持ちで



**5月**  
**■わんぱくあそびフェスティバル**  
 本学キャンパスにあふれる元気な子どもたちの声

**4月**  
 ■入学式(4月5日)  
 ■オリエンテーション(4月6日～9日)

**5月**  
 ■フレッシュマンセミナー(5月7,8日 介護福祉学科)  
 ■わんぱくあそびフェスティバル(5月30日)

**6月**  
**■開学記念式典**  
 (6月19日)



**フレッシュマンセミナー**  
 掛川つま恋で、新入生が仲良く交流

**7月**  
**■アビリンピック静岡大会**  
 (7月24日)

**8月**  
**■夏季休業**

**9月**  
**■介護実習2年生**  
 (介護福祉学科)

**10月**  
**■開学記念日(10月31日)**  
**■介護実習1年生、2年生**  
 (介護福祉学科)

**11月**  
**■大学祭(11月14日)**



**介護実習**  
 介護実習に向けて、真剣な面持ち

**12月 1月**  
**■冬季休業**

**2月**  
**■介護実習1年生**  
 (介護福祉学科)

**3月**  
**■卒業式(3月18日)**  
**■海外研修(3月20日～27日)**



**大学祭** 新時代の大学祭、開幕!!



オーストラリアでの施設実習のあい間に



**卒業式**  
 いよいよ卒業、感動の涙



**卒業パーティー**  
 晴れやかな顔、顔、顔

## 福祉クイズ

アビリティ(能力)とオリンピックを合成した言葉を何と言いますか?

ヒント…本号の記事にあります。

◆答えがおわかりの方は、住所、氏名、年齢を明記の上、〒425-8611 静岡県焼津市本中根549の1 静岡福祉大学附属図書館 福祉クイズ係宛まで葉書でお送りください。直接本学の附属図書館にお渡しいただいても結構です。(FAX可) 〆切7月26日(月)

◆正解者の中から抽選で図書券をお贈りいたします。

本号は以下の教職員が中心となって作成しました。ご意見、ご感想などお寄せいただければ幸いです。小田部雄次(委員長)・榊木てる子・岡澤裕子・太田晴康・加藤あけみ・田崎裕美・前川有希子・進藤令子(事務)

『あそびの日』を本学が演出  
 笑顔でひらく子どもの世界

全国一斉「あそびの日」キャンペーンとして「わんぱくあそびフェスティバル2004」が、焼津市子ども会世話人連合会等と共催で5月30日(日)本学キャンパスで開催されました。

「ニュースポーツ&伝承あそび」など25種目に学生と子どもたちがふれあい交流し、さわやかな汗を流しました。小学生、保護者、地域ボランティア、本学学生など総勢八百名でにぎわいました。

『アビリンピック 静岡大会』を支援

障害のある人に対する雇用の促進と障害者理解と認識を深めることを目的に「アビリンピック(静岡県障害者技能競技大会)」が、静岡市・グランシップで7月24日(土)に開かれます。本学の学生は競技大会参加選手誘導などのボランティアとして支援します。また、当日、会場に設けられる「交流広場」には「静岡福祉大学コーナー」が開設され、本学の教育や地域活動などの状況を、県民の皆様にご紹介いたします。

学生はじめ保護者の皆様のご来場をお待ちしております。入場は無料です。